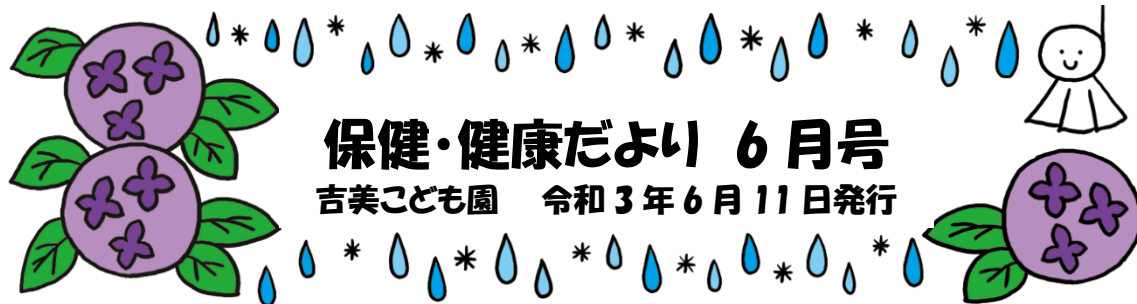




今年の梅雨は観測史上、最も早い梅雨入りとなり、もしかしたら、暑い夏もすぐそこまでやってきているのかもしれない。

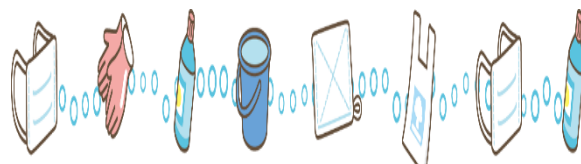
さて、先月流行した溶連菌感染症が去ったと思ったら、今月は感染性胃腸炎や水ぼうそうが入り、感染の広がりを見せています。こども園は抵抗力の弱い小さな子どもが集団で生活している場なので、流行りだしてしまうと次々と感染し、治まるまでに時間がかかります。流行させないためにも、日常からの手洗い、うがい、(できる子はマスク着用)、消毒は必至です。お子さんの体調に異変を感じたら、登園を見合わせて医療機関で受診をして、様子を見るようにしましょう。

感染性胃腸炎



感染性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスが原因の胃腸炎で、数時間前まで元気だったのに、突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多く見られます。水分を与えても吐いてしまいます。脱水症状を起こすと点滴からの水分補給が必要なので、医療機関で受診しましょう。

下痢の症状は、数日前から出る場合もあれば、嘔吐が始まってから出る場合もあります。嘔吐物や便から飛沫感染するケースが多いので、早めの処理と消毒が必要です。



嘔吐物の処理方法

嘔吐物は二次感染を防ぐために、速やかな処理が必要です。まずは窓を開けて、換気を行い、ゴム手袋やマスクを着用して、嘔吐物に直接触れないようにしましょう！

- ① 使い捨て手袋とエプロンを使用し、雑巾や新聞紙で拭き取ります。
- ② 拭き取ったものはビニール袋へ入れて外へ漏れ出ないようにして捨てます。
- ③ 汚れた所は漂白剤を薄めた液(1ℓの水に対し、キャップ1杯)で拭きます。
- ④ 使用した物は全て密閉して捨てます。処理後は十分に手を洗いましょう。

水痘(水ぼうそう)

潜伏期間は2週間～3週間程度。

赤い米粒大の発疹が胸や背中、お腹などに出始め、半日から一日で全身に広がり、強いかゆみを伴います。同時に37～38℃の熱が出ることもあります。次第に発疹の中央に水ぶくれができ、白っぽい膿を含んだ発疹に変化し、3～4日で黒いかさぶたになって、かゆみが治まります。発疹は虫刺されによく似ているので、症状の出始めは要注意です。症状が出たらすぐに受診しましょう。すべての発疹がかさぶたになるまで登園はできません。登園届が必要です。

予防接種を受けておくと、かかっても軽症で済むことが多いようです。(任意予防接種)

嘔吐物の付いた衣類の洗い方

消毒液を薄めて、汚れた衣類を2時間程度漬け置きした後、洗濯をします。他の衣類とは一緒に洗わないようにしましょう！

